

阪神西宮アートマップ

2班

NH・HA・MM・YM

目次

- ・紹介動画(1分程度) P3～4
- ・アートスポット紹介 P5～24
- ・インタビュー内容 P25～31
- ・私たちからの提案 P32～34

紹介動画



アートスポット紹介

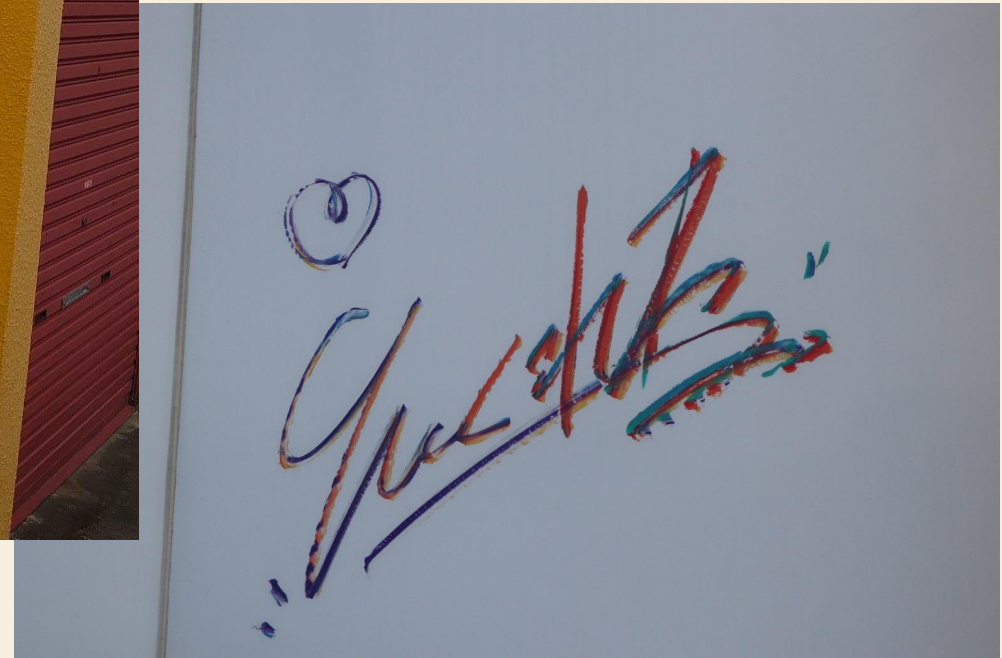
①駅前 阪神淡路大震災 モニュメント



②西宮市立浜脇小学校 校門



③ 自動販売機 ラクガキアート



④ 白鷹緑水苑



⑤宮水井



産地を生んだ宮水

おいしい酒には、良い水が不可欠だ。酒造り全体では白米量の約2~2.5倍の水を使用するので、これは当然のことと言える。西宮のうまい水=「宮水」は、名酒と産地を育んできた根幹である。

江戸時代の酒は、「秋落ち」といって夏を越すと味が悪くなった。しかし、西宮の酒だけは秋を迎えてかえって味が深え、「秋晴れ」と讃えられていた。西宮の酒だけになぜ「秋晴れ」が起きるのか?という謎を追求したのは、魚崎と西宮に蔵をもっていた酒造家・山邑太左衛門。天保11年(1840)、山邑は仕込み水の違いが原因であることを発見した。これ以来、灘の酒造家はこぞって宮水をもちいるようになった。当時は、水屋という専門業者がこの井戸場に展示している『はね釣瓶』という道具を用いて水をくみ、宮水を各地の酒蔵に供給していた。

はね釣瓶

24(36リットル)の釣瓶を用いて、桶1人を含む計4人で水をくんだ。さおもち1人が釣瓶を上下に動かす時、はね方(縄方)2人が石につけた綱を引っ張ってさおもちを挙げて水をくむ。水位が下がると、3人ひと組となり、1斗の小型釣瓶を用いた。

このはね釣瓶は、清酒『白鹿』の醸造元辰野家で実際に使われていた。1995年の阪神大震災後、当地に移転。



◆宮水の成分

宮水は、斑・札幌筋・法安寺の3つの伏流水(地下水の強い流れ)が帯でブレンドされてきている。このブレンドの結果、宮水の成分は他の酒造用水よりも、

- ①リン成分が約10倍量と特異的に多い
 - ②カリウム、カルシウム成分
 - ③鉄分が極めて少ない
 - ④塩分を適度に含む
- という特徴をもっている。リン・カリウムは、その他10種余りに及ぶとあいまって酵母の増殖を促進する働きをする。さらに、鉄が微量で、酒の着色や香が悪くなるという弊害の少ない水となっている。これが名酒を育んただけでなく酒の産地としての生産性を高めていった

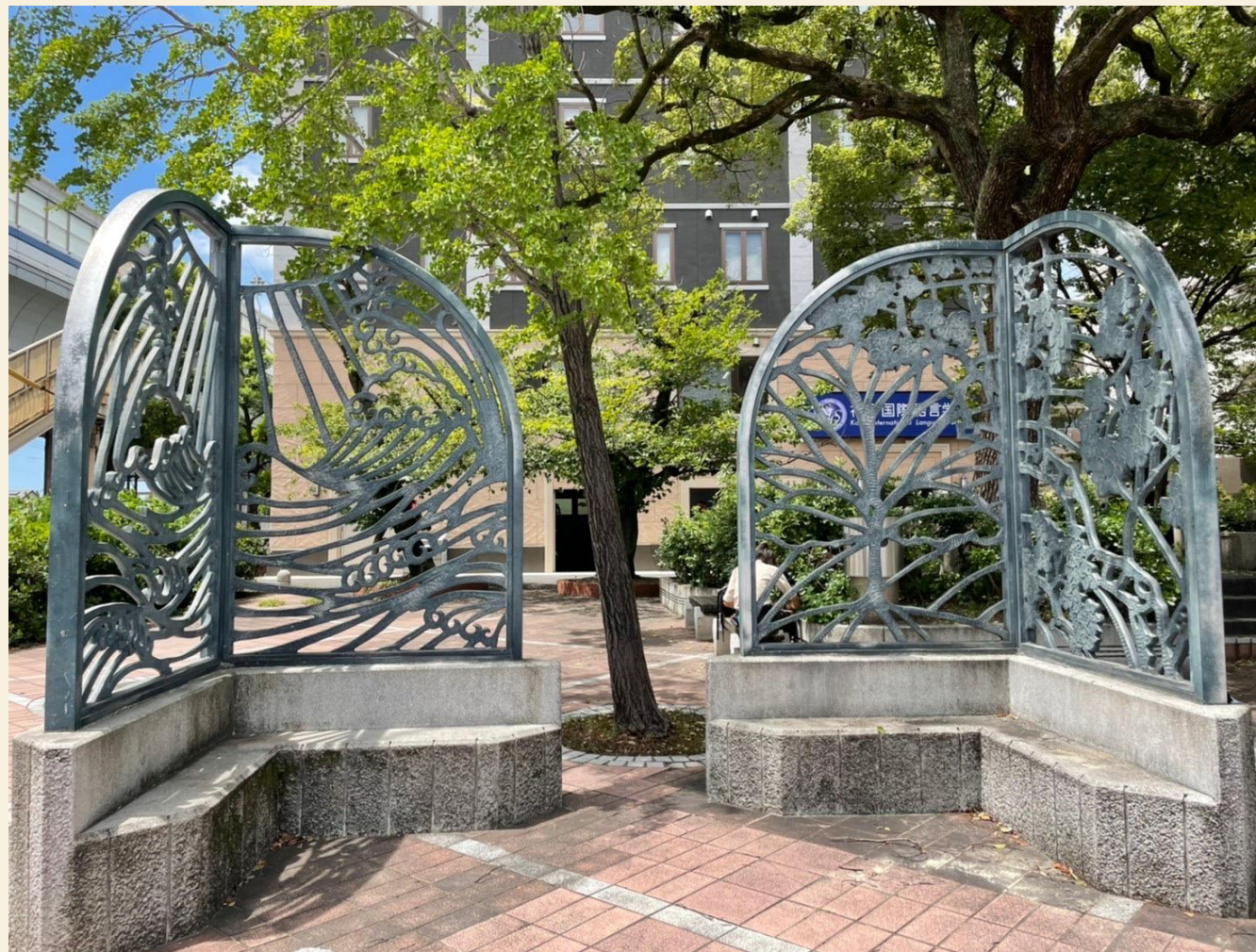
◆宮水地帯の成り立ち

古墳時代中期頃には、現西宮市役所の奥まで袋状の入り江で、西郷との海の底この時代の目録砂礫層この水らし

⑥櫓



⑦交差点前 駅側



⑧ハウスフィールド シャッター



⑨ カフェレストラン アクア



⑨カフェレストラン アクア



⑩市役所前線



⑪六湛寺公園(ろくたんじ)



⑪六湛寺公園(ろくたんじ)



⑫西宮市役所



令和3年度

原爆展

8月2日(月)~31日(火) ※最終日は午後4時まで

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから、今年で76年が経過しました。

広島平和記念資料館からお借りした被爆現物資料や原爆被害を伝えるポスターを展示しています。

核兵器の恐ろしさと平和の尊さを学び、二度と核兵器が使用されることのない平和な

立ち昇るきのこ雲

広島:1945年8月6日 午前8時15分 原子爆弾投下



長崎:1945年8月9日 午前11時2分 原子爆弾炸裂



原子爆弾の研究
第二次世界大戦が
「マンハッタン計画」
投下目標の検討
1945年(昭和20)
できるなどの条件

世界初の原
マンハッタン
ニウム239を
トニウム235
1945年(昭
砂漠で人類

原爆投下



⑫西宮市役所



⑬ ストリートギャラリー



⑭ 駅内



インタビュー

白鹿記念酒造博物館

Q. 展覧会を始めたきっかけ

A. 資料整理を進める中で、竹製の籠を確認したこと

竹は『おめでたい』というイメージがあるが、竹にまつわる様々な作品から身近な植物として生活に根付いてきた竹の姿を紹介したいと思った。



白鹿記念酒造博物館

Q.見せ方の工夫をしている所

A.館の所蔵品で展覧会を開催しているので、同じ作品でも異なった視点で見えていただけするようにテーマを決めている

今回のテーマである竹は暮らしに密着していて、**吉祥図案としての竹と、また素材としての日常品や工芸品に使われる竹の両面**をご紹介します。



白鹿記念酒造博物館

Q. 展覧会をしてこれからどうなってほしいのか

A. この展覧会で竹の様々な作品を目にした方がその魅力を感じ
新たに興味をもっていただけたら嬉しい

若い世代の方々にも博物館
に来ていただきたいが、
発信方法を模索中。



西宮市役所のロビーギャラリー



西宮市役所のロビーギャラリー

Q.市役所でロビーギャラリーを始めたきっかけは？

**A.市民の方に文化芸術に触れていただく
機会を作るため**

ギャラリーという形で市民の方に触れて
いただけるような空間を作ることや、
市民の方にフラッと来ていただけて、
より芸術を楽しんでいただけることも目的



西宮市役所のロビーギャラリー

Q今回どうして菅野清峯さんの作品を展示しているのか？
また、どうやって展示する人を決めているのか？

**A.西宮市の芸術文化協会(写真協会、
日本画協会、洋画協会、書道協会)の会長や
偉い方に協会の会員を紹介してもらおう
今回はたまたま書道協会のトップの
菅野清峯さんを紹介してもらった**

大きくて華
やかな日
本画と版画



西宮市役所のロビーギャラリー

Qロビーギャラリーの展示物の見せ方の工夫は？
また、誰が展示しているのか？

A.主に、搬入の際に**作者の方に来ていただき、こだわりの配置や高さなど理想の魅せ方を聞いて、太田さんが慎重に展示している**
取り扱いが難しいモノは業者に委託



提案

・西宮市のアート紹介動画をInstagramのリールやTikTokに投稿する

→若者がよく見るデジタルデバイスだと、紹介動画を見てもらう機会が増えて、より周知できるかも・・・？

→西宮市の良いところ発見にも繋がる



・QRコードを読み取って、デジタル化した
アートマップを閲覧できるようにする
☆スタンプラリーもありかも・・・？



→阪神西宮駅付近のアートが様々な場所に
散らばっていて、実際にアートマップを作っても あまり
行ってもらえないように感じた
→そこでアートマップをデジタル化し、景品ありのスタン
プラリーにすると、行ってくれる人が増えるのではないか

おわり